

読書のすゝめ

その2 R2 4 / 9

新任の先生紹介①

今年度は校長先生をはじめ、教諭、非常勤、講師、技能労務嘱託員と総勢40名の先生をお迎えし、新鉾田二高は完成年度となります。先生方よろしくお願いたします。

高野智一先生 (1年次付・国語)



『バーバリアンデイズ』 ウィリアム・フィネガン

書籍の帯に「ピューリッツァ賞受賞作」とあり興味を持った。報道写真にこの賞があることは知っていたが、「伝記・自伝部門」があるとは知らなかった。原題『Barbarian Days: A Surfing Life』、その翻訳本で五六〇ページの大作、サーフィンを通じて若者が大人の男になっていく物語だ。地図を片手に未開のポイントで良波を探して世界を放浪する。そのなかで人種差別や政治、紛争、貧困を目の当たりにしてジャーナリストへと育っていく。波乗りの息を呑むような臨場感と自分探しに思い悩む若者の描写は傑出している。一気に読ませる面白い内容だ。



長谷川美玲先生 (2年7組担任・保健体育)



『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』

ブレイディ みかこ

昨年、話題になった本です。著者のみかこさんはイギリスで保育士として働いています。子育てについて「母親」「日本人(移住者)」「保育士」としていろいろな視点から描かれています。多様性については『子どもたちの階級闘争』という本でも分かりやすく著しています。読みやすいのでぜひ。好きな作家は恩田陸・森博嗣・辻村深月です。



飯塚奈々実先生 (2年5組担任・保健体育)



『サクリファイス』近藤史恵

自転車のロードレースを描いた作品です。ロードレースの疾走感が文面から伝わり、読み進めるスピードと相まってまるで自分がその空間にいるような錯覚に陥ります。〈好きな作家〉 湊かなえ

昔から本は読んでいたと思いますが、飽きると半分ほどで別の本に移行してしまっていました。湊かなえさんの作品を初めて読んだとき、ひたすらにページを捲って読み進めた記憶があります。



宮本彩乃先生 (3年2組副担任・農業)



『葉桜の季節に君を想う』歌野 晶午

きれいなタイトルと表紙に惹かれて手に取った一冊ですが、読んだ後は気持ちのいい驚きを感じ、すぐにもう一度読み返したくなるようなストーリーです。この本に出会ってからどんでん返しに驚く叙述トリックのある話が好きになり、時間を見つけて読んでいます。また、私は農業の教員で、農学部出身ですが、歌野晶午さんも農学部出身の方です。読む人を楽ませる作品を書く作者の方と共通点を知ると嬉しくなりますね。

